

## ICCEES 幕張大会の開催と参加手続きについて

乗松亨平（幕張大会組織委員）

ICCEES（イクシーズ; International Council for Central and East European Studies; 中欧・東欧研究国際協議会）は、1974年に創設された、世界各国の旧ソ連・東欧地域研究学会の連絡組織です。現在、正規加盟が17か国20団体、準加盟が4か国7団体あり、日本からも、本学会を含む7団体の構成するJCREES（ジェイクリーズ; The Japan Council of Russian and East European Studies; 日本ロシア・東欧研究連絡協議会）が、代表機関としてICCEESに正規加盟しています。

5年に1度開かれる世界大会はきわめて大規模で、前回のストックホルム大会には、59か国から1247人（うち日本からは61人）が参加しました。ロシア関係の巨大国際学会はほかにいくつかありますが、ICCEESの特徴は、対象地域が中欧・東欧から旧ソ連全域に及び、政治・経済から歴史・文化まで文系全分野を包含する、雑多で開かれた性格にあります。公用語も露英仏独の4言語です。原稿ひとつ用意すれば誰もが参加でき、また、世界のロシア研究の最前線を一望できる絶好の機会ですので、学会員のみなさまにはぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

幕張大会の開催は2015年8月ですが、巨大会の常として、準備に多大な時間がかかります。そのため、発表申込は早くも2013年11月に始まり、14年5月まで専用サイトで受付の予定です。2年後の発表の趣旨といわれても、という戸惑いは当然あるでしょうが、これから2年間の研究計画という心づもりでよいかと思えます。

発表申込には個人申込とパネル申込の2種類があります。後者は、数人の発表者に司会・コメンテーターを含めたパネルを組織して申し込む形式で、申込の主体となっています。パネルには2か国以上からの参加が義務づけられており、組織の手間は少なくないものの、個人申込を主催者側が寄せ集めたパネルより、統一的概念のもとに企画されたパネルのほうが魅力的です。国際経験豊かなベテランの方々は、ぜひパネル組織にチャレンジしてください。

申込受付の終了後、採否とプログラムが決定されますが、その任にあたるプログラム委員に、本学会から幾人かご加勢いただければと、組織委員会では考えております。その後、2014年9月から、参加登録（参加費の支払い）が始まります。参加費は2~3万円程度の予定です。この規模の研究集会ではやむをえない額で、早期登録割引や大学院生割引があるとはいえ、若手研究者には厳しい金額です。この点に関しましても、学会員のみなさまの

ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

とはいえ、幕張大会に対して本学会に期待される最大の支援は、ひとりでも多くの会員のみなさまに発表していただくことです。日本のロシア語学・文学研究の蓄積をまとめたかたちで世界に示すのに、これ以上のチャンスは二度と訪れないかもしれません。若手、ベテラン問わず、参加を前向きにご検討ください。

ICCEES 幕張大会・英語版ホームページ（日本語版も近日開設予定）

<http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/iccees2015/index.html>

facebook でも「Iccees Congress 2015, Makuhari, Japan」のアカウントで情報を提供しています。